

ユースが考える「SDGs 課題解決に向けた取り組み」についての対話の場！



2030年の未来は、  
大人には任せておけない！

今年はオンライン！

# SDGs文化祭

令和2年11月15日(日)14:00~17:00

@オンライン(zoom)

(参加 URL はお申込みの方にお送りします)

昨年度から開催しているこの文化祭は、SDGsに興味があっても周囲に仲間がいない生徒や、興味があっても学ぶ機会が与えられていない生徒が集い、SDGsについて学び・実践し、発表する取り組みです。

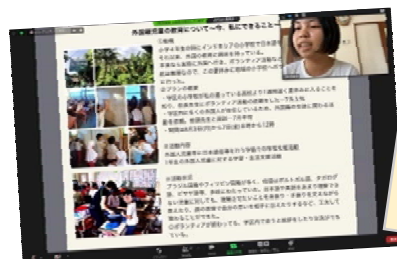
将来の社会を担っていく若者にとって、持続可能な未来は、まさに自分事です。そうした彼・彼女たちは、将来についてどのような課題あると考えているのか、またそれをどのような方法で解決しようと考えているのか。これまで4回の活動を通じ、それぞれにSDGsの課題解決につながる取り組みを考えてきました。この文化祭では、彼らが考え実践する、様々なSDGsへの解決アプローチを、広く世の中に問うものです。今の高校1年生は、SDGsの目標年である2030年には25歳になり、さらにその先の50年後の未来の当事者でもあります。まさに「自分ごと」としてSDGsを考える、彼女・彼らとともに、どのようにSDGsに取り組んでいけば良いのか、ご一緒に考えてみませんか。

社会人の方、同世代のユース、親子など、SDGsにご関心のある皆様のご参加を頂き、中高生との対話を通じて、一緒に未来の扉を開いていきましょう。



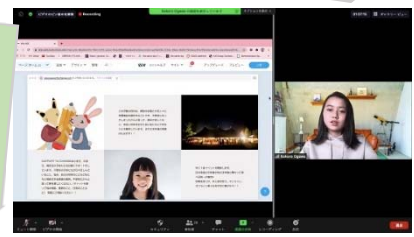
6/28(日)  
キックオフ！  
各地から、大勢の中高生がオンラインで集合。まずはどのような取り組みをするのか、個人でアイデアを検討。

8/8(土)  
2ndセッション  
EDcampTAMAと連携し、個人で考えたアイデアを市民や大学生との対話を通じブラッシュアップ！



8/30(日)  
3rdセッション  
取り組むテーマが近い個人同士でチームを作り、中身をさらに掘り下げていく。

10/4(日)  
中間発表  
チームで取り組んできた内容を参加者全員でシェアし、色々な視点で掘り下げていく。



これらのプロセスを経て取り組んできたプロジェクトを、文化祭当日発表します！

主催	SDGs文化祭実行委員会、一般社団法人ESD TOKYO、一般社団法人環境パートナーシップ会議
後援	東京大学 EMPOWER Project
協力	立教大学 ESD 研究所、聖心女子大学グローバル共生研究所、成蹊学園サステナビリティ教育研究センター、筑波大学附属坂戸高等学校、関東地方 ESD 活動支援センター
参加費	無料(登録制・オンライン)
対象	SDGs、ESD等に関心のある、学生・生徒、企業、行政、NPO等どなたでもご参加いただけます

## ■プログラム（11月15日（日））

14:00	オープニング・セレモニー	開催趣旨の紹介や、各チームの説明を行います
14:15	チーム発表 (プレゼンテーション、ワークショップ等)	各チームのセッションを実施します。 3交代制になりますので、関心のあるテーマに参加ください
16:30	まとめ	各チームから、今日の振り返りなどを行います
17:00	終了	お疲れ様でした

## ■発表内容（予定につき、変更になることがあります）

テーマ	概要
Support to Change	学生の悩みを解決するために気軽に相談できてストレスを発散できるウェブサイトを作るプロジェクト。不登校の子供達や何かしらの理由で取り残されやすい子供もサポートしていきたいと考えている。ウェブサイトには相談できるチャット機能などの他にも学生の悩みなどの情報提供、解決策、SDGs に関連し環境問題について新しい内容なども掲載予定。オンラインイベントなども計画したいと考えている。
外国籍児童の現状を知ってもらう	VoYJ に投稿する記事を作る上で大変だったこと、それを通して伝えたいことなど。
国内の外国人支援における VoYJ での発信	メンバー共通のゴールは、国内の外国人支援である。メンバーそれぞれ発信する内容について投稿を作成、フィードバックをしたのちに、Voice of Youth Japan のプラットフォームを使用して発信する。
絵本プロジェクト	日本での SDGs の認知度はまだまだ低いのが現状です。こんな現状で SDGs に取り組んでも解決には程遠いと考えました。そこでまずは SDGs を知ってもらうとともに、なにか行動を起こすきっかけづくりをするという目的で絵本という形で SDGs を広めていくことにしました。高校生ならではの視点を入れ、私たちにしか作れない絵本をつくっていきます。
海外への手助け	海外の貧しい国の人達にその国の人達だけで生活できるように（支援がなくても）する
外国人支援を目的とした発信	自分の故郷である富士山の周辺から、観光で訪れる外国人に向けてゴミから考える SDGs と災害から考える SDGs を発信していきたい。ボイスオブユースジャパンを発信場所とする。
<ゲスト参加> ポッチャとブラインドサッカーを通じた健康と福祉	桐蔭学園高校トランジションゼミ同好会では、健常者と障がい者が共に支え合う、ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）を目指す社会を実現するための活動をしています。昨年度は、プエンカンピオ横浜というブラインドサッカーのプロチームとパラスポーツの体験会を開催しました。また、ポッチャを通じて同じ地域内にある、あおば支援学校との活動もしています。

当日は、発表テーマ毎にオンラインの会議室を設け、中高生からのプロジェクトの発表を受け、ディスカッションを行います。zoom・ミーティングを利用したオンライン形式になりますので、スマホ、タブレット、パソコンからご参加頂き、対話します。

## ■コーディネーター

### ○松井晋作氏

（一社）ESD TOKYO 共同代表

桐蔭横浜大学 教育研究開発機構 専任講師

高校教員を10年間務めたのち、多摩大学を経て現職。目黒区・多摩市などで教育コーディネーターに従事する中で、関東地方 ESD 活動支援センターのユース応援企画のコーディネートを行う。研究分野は、ESD・SDGs・インクルーシブ教育・学校と仕事・社会をつなぐトランジション。

### ○佐藤駿介氏

（一社）ESD TOKYO 共同代表

私立中学校・高等学校教諭

大学で政治学を学び、一般企業に勤務。その後、大学院を卒業し、私立高校の教員となる。「実践に伴う知識の獲得」を掲げ、現在は ESD/SDGs 学習推進担当として活動している。

## ■メンター

東京大学 EMPOWER Project 

東京大学の学生が中心となって、「誰一人取り残さない世界」を実現するための新プロジェクトを立ち上げ。「協力が必要な時は、お声を！」の気持ちを表すマークである「マゼンタ・スター」を広めていくことで、困った時、協力してくれる人を見つけやすく、誰もが誰かのためになれる世界をつくることを目指している。SDGs 文化祭では、全てのプロセスに参加し、ユースの取り組みをサポートしている。

## 【参加お申込み】

○Webの方 <http://kanto.esdcenter.jp> よりお申込みください。

※スマホの方は、右のQRコードがご案内ページにリンクされます。

## 【お問合せ】運営事務局

担当：伊藤、新木、島田

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B1F

TEL：03-6427-7975 メール：kanto@kanto-esdcenter.jp

R2.10.29

